

## 多文化共生事例集作成ワーキンググループ（第3回）

### 議事概要

#### （1）開会

#### （2）事例選定

事務局より事例選定の進め方について説明した後、「地域における多文化共生推進プラン」（以下「総務省プラン」という。）の項目毎に候補事例の概要を説明し議論を行った。

#### ○事例選定の進め方

- ・ 応募総数は、232 事例で、うち、80 から 100 事例程度を掲載予定とする。
- ・ 事例の選定に当たっては、以下の視点を踏まえて検討する。
  - ①将来を見据えた取組、②多様性を地域の未来に前向きに活かした取組かどうか、③多くの人・団体の参画を促す仕組みがある取組かどうか、④他の自治体のモデルとして参考にしやすい取組かどうか、⑤地域の実情などに合わせた創意工夫を凝らした取組かどうか
- ・ 多文化共生事例集（平成 29 年 3 月）に掲載している事例は、作成時からの変更点を記載の上、現在事業が終了している事例を除き、掲載する。

#### ○事例選定における議論

- ・ 事例選定は、特定の自治体の取組に偏らないように配慮する必要がある。
- ・ 契約していない携帯電話を持っている外国人を念頭に、SNS を用いて外国人とコミュニケーションを取っている自治体の取組を掲載した方がよい。
- ・ 先進事例だけでなく、より多くの自治体に参考にしてもらうため、典型的な取組も掲載した方がいいのではないかな。
- ・ 教育分野で保護者とコミュニケーションを取っている取組を掲載した方がよい。
- ・ 労働環境の確保は、現在地方で力を入れて取り組んでいるので可能な限り掲載してはどうか。
- ・ 地域とのつながりがある企業の取組を掲載してはどうか。

#### （3）コラムの掲載

山脇座長からコラムの掲載について提案があり、以下のとおり了承された。

- ・ 多文化共生事例集（平成 29 年 3 月）に掲載された企業のコラムについて、内容を更新して掲載。
- ・ 大学と地域が連携した取組を掲載。

- ・ 外国人当事者団体又は市民の共助の取組を掲載。

以上